

## ○ ごみ処理基本計画の見直しについて

現行のごみ処理基本計画において、以下の3点の見直しを行います。

### 【見直し内容】

#### ① 基準年度の見直し

直近の傾向を反映するため、「令和5年度」を基準年度とします。

#### ② 目標年度における数値目標の見直し

近年の増減傾向や、施策の効果を反映した数値目標を定めます。

#### ③ 施策の分類の見直し

今後の実施予定を踏まえ、施策の分類を見直します。

# 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の見直しについて

令和7年（2025年）1月24日  
廃棄物減量等推進審議会  
【資料1】

## ○ ごみ処理基本計画の見直しについて

	現行計画	新計画
計画期間	令和4年度～令和11年度	令和8年度～令和11年度
基準年度	令和2年度（125,488トン）	令和5年度（112,088トン）
目標年度	令和11年度（111,222トン）	令和11年度（104,061トン）
施策の分類	重点施策：3施策 継続施策：11施策 検討施策：3施策	重点施策：4施策 継続施策：11施策 検討施策：2施策
進行管理※	数値目標・施策の実施状況の評価	数値目標・施策の実施状況の評価

※議事（3）にて詳細を説明します。

## ○ 基準年度の見直しについて

### 1 現行計画の基準年度

「令和2年度（ごみ排出量：125,488トン）」

#### 【問題点】

- ・ コロナ禍の実績であるため、平時の評価に対する基準として適さない。
- ・ 近年のごみ排出量の傾向が反映されていない。

### 2 新計画の基準年度

「令和5年度（ごみ排出量：112,088トン）」

- ・ 平時の傾向に戻りつつある時期の直近の実績である。
- ・ 直近のごみ排出量の傾向が反映された値である。

## ○ 数値目標の見直しについて

### 1 現行計画の数値目標

「令和11年度（ごみ排出量：111,222トン）」

【算出根拠】

- ・ ごみ処理基本計画の施策の効果による排出量の減少（全体で3%）

### 2 新計画の数値目標

「令和11年度（ごみ排出量：104,061トン）」

【算出根拠】

- ・ 重点施策の効果による排出量の減少（詳細は次ページ以降）

※継続施策は引き続き実施し、減少傾向の維持を目指します。

# 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の見直しについて

令和7年（2025年）1月24日  
廃棄物減量等推進審議会  
【資料1】

## ○ 数値目標の見直しについて

### 【新計画の数値目標】

	基準年度 (令和5年度)	目標年度 (令和11年度)	比較
ごみ排出量	112,088トン	104,061トン	△8,027トン
集団資源回収量	15,734トン	15,010トン	△724トン
資源化量	36,351トン	34,390トン	△1,961トン
資源化率	32.4%	33.0%	+0.6%
1人1日排出量	796g	787g	△9g

## ○ 施策の分類の見直しについて

### 1 重点施策の見直しについて

#### ① 現行計画の重点施策：3施策

- ・ 食品ロスに関する施策
- ・ プラスチックごみの削減、資源化の推進
- ・ 事業系ごみに関する施策

#### ② 新計画の重点施策：4施策

上記3施策 + 「家庭系剪定枝の資源化」

⇒計画の目標達成に向け、計画期間中に新規での実施を予定しています。

## ○ 施策の分類の見直しについて

### 2 重点施策の実施及び効果について

#### ① 食品ロスに関する施策

- ・ 食品ロス削減施策の実施  
（例：市民啓発、フードドライブの実施等）
- ・ 食用油の資源化

#### 【施策の効果】

- ・ 年間見込量：約150トン  
⇒燃せるごみ（定日収集）の削減（＝CO2排出量の削減）  
横須賀ごみ処理施設「エコミル」の処理量削減

## ○ 施策の分類の見直しについて

### 2 重点施策の実施及び効果について

#### ② プラスチックごみの削減、資源化の推進

- ・ プラスチックごみ削減に向けた市民啓発【継続】  
（例：マイバッグ、マイボトルの使用等）
- ・ プラスチックの再資源化【継続】
- ・ 海洋プラスチックごみ削減対策の推進【継続】

#### 【施策の効果】

- ・ 年間見込量：約6,200トン  
⇒リサイクル（再資源化）の推進、資源化率の増加  
燃せるごみ（定日収集）の削減（＝CO2排出量の削減）

## ○ 施策の分類の見直しについて

### 2 重点施策の実施及び効果について

#### ③ 事業系ごみに関する施策

- ・ 食品廃棄物のリサイクルの推進

（例：給食残渣の資源化、事業者への情報発信及び啓発等）

#### 【施策の効果】

- ・ 年間見込量：約220トン

⇒ 燃せるごみ（許可収集・一般持込）の削減

横須賀ごみ処理施設「エコミル」の処理量削減

## ○ 施策の分類の見直しについて

### 2 重点施策の実施及び効果について

#### ④ 家庭系剪定枝の資源化【新規】

- ・ 現在「燃せるごみ」で収集している家庭系剪定枝を別回収し、民間リサイクル施設で資源化する。

#### 【施策の効果】

- ・ 年間見込量：約1,000トン  
⇒ 燃せるごみ（定日収集）の削減（＝CO2排出量の削減）  
横須賀ごみ処理施設「エコミル」の処理量削減